



五条川がつなぐ

人と人

五条川への想いを活動の力に変えて

岩倉の水辺を守る会

五条川に歓声が響く「水辺まつり」。岩倉の子どもたちが楽しみにする夏のイベントを各種団体で企画運営するのは岩倉の水辺を守る会。「子どもたちに、ありがとう、また来年も来るねと言ってもらえるのが何よりうれしい」と会長の奥田信夫さんは目を細めます。

決して「きれいな川」とは言えない状態になっていた五条川に清流を取り戻したい、昔のように川と親しみ、子どもたちに自然とふれあってほしい、そんな願いを込めて年齢も、職業も異なる市民が活動を始めたのは1980年。魚類の生息調査、クリーン作戦、水辺まつりの原点・イカダ下りなどを実施して、一歩、一歩、市民の関心を五条川に引き寄せていきました。そして1986年岩倉の水辺を守る会が発足。行政および地域住民の皆さんとも協力しあって、五条川を活かしたまちづくりが一段とすすみました。

今、水辺を守る会では、水辺まつりや親子魚釣り教室などのほか、定期的に魚類調査を続け、市民ふれ愛まつりや小学校で五条川を取り巻く自然環境の大切さを訴えるなど、環境活動にも積極的に取り組んでいます。「子どもの時、五条川に楽しい思い出があれば、大人になっても忘れずに想いを寄せてくれる、そんな子どもたちを一人でも多く育てたい」と、奥田さん。25年の活動の積み重ねは、大きく広がっています。



子へ、孫へ、桜並木を残したい。

五条川桜並木保存会

早朝の五条川、散歩する人たちが「お疲れさま!」と声をかけるのは、桜並木保存会の人たち。日本のさくら名所100選にも選ばれた五条川の桜並木を、月2回手入れしています。

きっかけは「五条川の桜を知ろう」という勉強会に参加し、桜についての知識を得たこと。1950年ごろ植えられた五条川の桜は、60年近くになる老木も多く、このままでは木が弱ってしまう、この現実を知った有志が市民の手で守ろうと会を発足させました。

「きちっと手入れをすれば桜の寿命も延ばせるはず」と意欲をみせる会長の丹羽喜代之さん。五条川兩岸すべての桜の台帳も作成し、きめ細やかな管理に取り組んでいます。「私たちはバトンを渡すのが役割。今、やらないと桜並木を子や孫へ残すことはできません」。毎年咲き誇る桜の背後に、桜を見守る会員のやさしいまなざしがあります。



岩倉の魅力を多くの人に伝えたい。

いわくら塾観光ボランティアガイド

2001年、行政と協働でまちづくりをすすめる市民団体として活動を始めたいわくら塾。岩倉のまちをもっと良く知ってもらうために、ぶらぶら歩きマップやサイクリングロードマップの作成など、さまざまな活動を行っています。

なかでも中心となるのが観光ボランティアガイド。元気な中高年のメンバーが岩倉の歴史、文化に関する勉強を重ね、市内外の人を案内します。「ガイドのポイントはユーモアを入れること。ちょっとしたエピソードを入れて、楽しく岩倉の魅力を伝えたいと思っています」という塾長の丹羽進太郎さん。コースに組み込まれている五条

川沿いは、ゆっくり歩いて川辺の心地よさを感じてもらうのがポイント。

「市民でも自分のまちを意外と知らないことが多いので、へえーと驚いたり、喜んだりしてもらえるのが一番うれしいですね」。メンバーは、さまざまな出会いを楽しんでいます。



Cherishing the Gojo River

People in Iwakura City have organized activities aimed at conserving the Gojo River. The Iwakura Waterfront Conservation Group gives children the joy of playing at the river by holding a festival at the waterfront, and also engages in environmental activities such as fish research. Meanwhile, the Cherry Tree Preservation Group regularly takes care of cherry trees along the Gojo River, which was designated as one of the Best 100 Cherry Blossom Viewing Spots in Japan. The Iwakura-juku (Iwakura School) Volunteer Tour Guides are working to teach people about the history and cultural assets of Iwakura City.

Pessoas relacionadas com o rio Gojo

Em Iwakura, há um movimento civil voltado à proteção do rio Gojo. A Associação de Proteção das Margens Fluviais de Iwakura promove o Festival das Margens Fluviais, para que as crianças tenham boas lembranças sobre o que é se divertir no rio; também realiza pesquisas de peixes e atividades ambientais. A Associação de Preservação das Árvores de Sakura faz manutenção periódica das árvores de sakura do rio Gojo, que está na lista dos 100 locais de sakura mais renomados do Japão. Já a entidade Guia Voluntário Turístico de Iwakura tem realizado atividades para divulgar a história e objetos culturais de Iwakura.